

講演会

参加
無料

くにたちの縄文時代

— 顔面把手と大形石棒を中心に —

国立市内では、昭和 34 (1959) 年に南養寺遺跡から出土した顔面把手付土器や、平成 24 (2012) 年に緑川東遺跡で出土した 4 本の大形石棒など、縄文時代の遺物が多く出土しています。

本講演では、顔面把手付土器や 4 本の大形石棒をはじめとした考古資料を通じて、くにたちの縄文時代の様子を考えます。



左：顔面把手付土器（南養寺遺跡出土） 右：緑川東遺跡敷石遺構 SV1 と大形石棒

日時 3月24日(日) 13:30 ~ 15:30

場所 くにたち郷土文化館 講堂

講師 中村耕作 (国立歴史民俗博物館 准教授)

申込方法

くにたち郷土文化館 (☎ 042-576-0211) へお電話ください。2月27日(火) 9:30より、受付開始。(定員 60名、申込先着順)

くにたち郷土文化館

〒186-0011 東京都国立市谷保 6231
電話 042-576-0211

JR南武線「矢川」駅下車徒歩10分 / JR中央線「国立」駅からバス(「国立操車場」行または「国立泉団地」行)「くにたち郷土文化館」下車徒歩2分

